

授業科目等の概要

分類		エコ・コミュニケーション科 2020年度		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	講義	演習	実験・実習・実技	授業方法			専任	兼任	企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択	講義								演習	実験・実習・実技	校内				校外
○				エコロジー概論	動物や自然環境を学ぶ上で、人間と動物を取り巻く環境について考えていきます。	1 通年	30	2	○			○					
○				アニマルベーシック	様々な動物に関する仕事を学びます。	1 通年	60	4	○			○					
○				アニマルヘルスケア	動物の健康に関わる食餌・栄養管理や疾病、その対処法について学びます。	1 通年	30	2	○			○					
○				基礎獣医学(解剖・生理)	動物の体のしくみ・構造・機能などの解剖学と生理学について学びます。	1 通年	60	4	○			○					
○				英会話	海外実学研修が必要となる外国の方とコミュニケーションを図るため必要な英語を学びます。	1 通年	60	4	○			○					
○				(Informations Technology)	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1 通年	60	4	○			○					
○				ビジネスマナー	コミュニケーション能力、社会人としてのマナー、一般教養・人前での話し方など就職に関する身構え・気構え・心構えについて学びます。	1・2 通年	120	8	○			○					
○				公衆衛生・関連法規	衛生の概論、ズーノーシスなどの感染症の原因を理解し、衛生管理について学びます。また動物に関する法律・保護管理法などの法規を学びます。	1・2 通年	120	8	○			○					
○				トリミングⅠ	動物のグルーミング・トリミングについて学び、また美容部分における技術を実践します。	1 通年	120	8	△	○		○					
○				トリミングⅡ	動物のグルーミング・トリミングについて学び、また美容部分における技術を実践します。	1・2 通年	120	8	△	○		○					
○				アウトドアエクササイズⅠ	テント設置、ロープワークなどアウトドアに必要なテクニックについて体験し、その基礎を学びます。	1 通年	120	8		○		○	△				
○				アウトドアエクササイズⅡ	テント設置、ロープワークなどアウトドアに必要なテクニックについて体験し、その基礎を学びます。	2 通年	120	8		○		○	△				
○				動物看護Ⅰ	動物の保定方法、一般検査など、動物看護学について学びます。	1 通年	120	8	○	△		○					
○				動物看護Ⅱ	動物の保定方法、一般検査など、動物看護学について学びます。	2 通年	120	8	○	△		○					
○				動物行動学	動物の行動学について学び、しつけ・調教に必要な知識・技術を身につけます。	1・2 通年	120	8	○	△		○					
○				海洋・水生生物Ⅰ	海洋動物・水生動物の進化、分類、生理、生態などについて学びます。	1 通年	120	8	○	△		○					
○				海洋・水生生物Ⅱ	海洋動物・水生動物の進化、分類、生理、生態などについて学びます。	2 通年	120	8	○	△		○					
○				飼育飼養管理	動物の飼育管理、飼育員の仕事について学びます。	1・2 通年	120	8	△	○		○					
○				ウォーターエクササイズⅠ	プールで泳カトレーニングを実施し、体力向上ならびにダイビングライセンス取得に必要な技術を身につけます。	1 通年	120	8		○		○					
○				ウォーターエクササイズⅡ	プールで泳カトレーニングを実施し、体力向上ならびにダイビングライセンス取得に必要な技術を身につけます。	2 通年	120	8		○		○					
○				進級制作	基本的な文章の書き方を学び、進級時に研究制作のため、論文を作成し、プレゼンテーションします。	1 通年	120	8		○		○					
○				企業研修	現場で実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	2 通年	60	4		○		○					
○				卒業制作	社会人として必要な文章の作成を学び、卒業研究の論文を作成し、プレゼンテーションします。	2 通年	120	8		○		○					
合計						23科目											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

- (留意事項)
- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
 - 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。